

水稻新品種「ミヤコ95」について

1) 西山 壽・2) 八木忠之・轟 篤・3) 小八重雅裕・4) 黒木雄幸・日高秀光・7) 愛甲一郎
 5) 吉田浩一・6) 本部裕朗 (宮崎県総合農業試験場・1) 元九州農業試験場・2) 九州農業試験場
 3) 宮崎県北諸農林振興局・4) 宮崎県宮崎農業改良普及所・5) 宮崎県えびの農業改良普及所
 6) 宮崎県高鍋農業改良普及所・7) 宮崎県西都農業改良普及所

Hisashi NISHIYAMA, Tadashi YAGI, Atsushi TODOROKI, Masahiro KOBAE, Yukou KUROGI, Hidemitsu HIDAKA, Ichirou AIKOU, Kouichi YOSHIDA and Hiroaki HONBU: A New Rice Cultivar "Miyako 95"

水稻新品種「ミヤコ95」は、1990年から京都府において奨励品種に採用され普及に移された。ここに本品種の育成経過並びに特性概要を報告し普及の参考に供したい。

本品種の育成に関し、種々ご高配をいただいた関係農業試験研究機関及び各位に深く謝意を表する。

1. 来歴及び育成経過

本品種は1978年宮崎県総合農業試験場において、良食味・耐病性品種の育成を目標に、いもち・白葉枯病に強い「あそみのり」を母、良食味の「コシヒカリ」を父として交配を行い、世代促進、個体選抜、系統選抜を経て、1984年F₈より「南海95号」の地方系統名を付し、関係府県に配布して地方適応性を検討してきたもので、1990年6月「ミヤコ95 (水稻農林306号)」と命名、登録された。

2. 特性の概要

1) 形態的特性 稈長は「あそみのり」よりやや長く、穂長はやや短く、穂数は同程度の、中稈中間型である。葉巾は中位、葉色は中、止葉はやや直立し草姿熟色は良い。粒着密度は中で稀に短芒がある。ふ先色は黄白、脱粒性は難である。

2) 生態的特性 出穂期・成熟期とも「あそみのり」並みの暖地では中生の早に属する稈種である。耐倒伏性は「あそみのり」並みの中である。収量性は「あそみのり」並みである。

いもち病抵抗性遺伝子型は*Pta*と推定され、葉いもち、穂いもちの抵抗性は「あそみのり」並みのやや強である。白葉枯病抵抗性品種群は黄玉群に属し、圃場抵抗性は「あそみのり」並みの強である。縞葉枯病抵抗性は「あそみのり」同様罹病性である。

3) 品質・食味特性 玄米の粒形は中、粒大はやや小である。腹白・心白の発生は少なく、色沢は中、光沢はやや大で、外観品質は「日本晴」並みに良質である。搗精歩留は普通で、食味は「コシヒカリ」より劣るが、「日本晴」、「コガネマサリ」よりも良い良食味である。

3. 奨励品種採用理由

京都府では、京都府南部 (京都市以南) の平坦地向け晩生品種として、かつて「コトミノリ」を奨励していたが、食味・品質の不評から、奨励を廃止し、同じ晩生の「アケボノ」への誘導を図ってきた。

しかし、「アケボノ」は耐倒伏性・品質に問題があるため、「あそみのり」「コトミノリ」「ニシホマレ」等の晩生の非奨励品種の作付が多い。

米の情勢が変化する昨今、これら非奨励品種の作付が

原因で、産米評価が著しく低下し、良食味・適熟期品種の出現と品種統一が、実需・生産両面から強く望まれていた。

「ミヤコ95」は、京都府では晩生の熟期に属し、「日本晴」と「アケボノ」の中間の熟期で倒伏・いもち病に強い栽培しやすく、かつ品質・食味が良い。

以上のことから、「ミヤコ95」を京都府南部向けの晩生品種として、産米評価の向上を図ることができるので、「アケボノ」の一部と非奨励品種の大部分に替えて800haほど作付が見込まれる。

4. 栽培上の注意

- 1) 耐倒伏性は中位なので、極端な多肥栽培は避ける。
- 2)刈遅れにならないよう適期収穫に留意する。
- 3) 縞葉枯病には罹病性なので、適期防除に努める。

第1表 ミヤコ95の特性概要

形質			品種名	
			ミヤコ95	あそみのり
早	晩	生	中生の早	中生の早
草		型	中間型	中間型
出穂期 (月日)			8. 25	8. 25
成熟期 (月日)			10. 7	10. 6
稈長 (cm)			80	78
穂長 (cm)			19.9	20.1
穂数 (本/m ²)			393	386
芒の多少・長短			稀・短	無
ふ先色			黄白	黄白
脱粒性			難	難
耐倒伏性			中	中
葉いもち			やや強	やや強
穂いもち			やや強	やや強
白葉枯病			強	強
縞葉枯病			罹病性	罹病性
玄米重 (Kg/a)			47.2	46.5
同上標準比率 (%)			102	100
玄米千粒重 (g)			22.1	23.6
玄米品質			中上	中中
食味			上下	中上

注) 育成地における1982~'89の標準栽培の成績